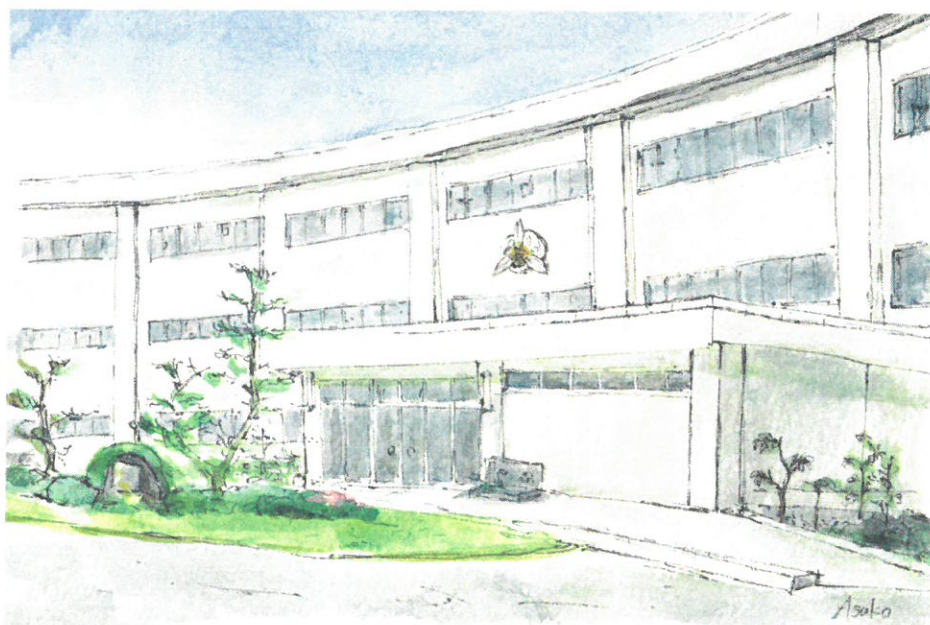




令和2年度 学校要覧



宮城県立船岡支援学校

〒989-1605 宮城県柴田郡柴田町船岡南二丁目3番1号

電話 0224-54-2213

FAX 0224-54-2214

Home page <https://funayou.myswan.ed.jp/>

校 歌

伊 藤 龍 夫 作 詞 作 曲

明るく力強く



1 ま す み の おお ぞら も え た つ み ど り
 2 え だ く み か わ ー す け や ぎ の わ か ぎ
 3 み や ぎ の は ぎ ー の し る し を む ね に

こ ー こ ろ ひ ろ び ろ す こ ー や か ー に
 ま な び の み ち ー を ひ た ー す ら ー に
 あ ら し に た え ー て ひ と ー す じ ー に

い た め る あ し を い や し つ つ あ
 き ら め く ほ く と あ お ぎ つ つ た
 ぎ ぼ ー の ひ か り め ざ し つ つ い

か る く き よ く ひ び を あ ゆ ま ん
 だ し く つ よ く つ と め は げ ま ん
 ざ た く ま し く ふ る い す す ま ん

校 歌

伊 藤 龍 夫 作 詞・作 曲

一 真澄の天空 萌えたつみどり
 心ひろびろ すこやかに
 傷める葉を いやしつつ
 明るく清く 日々を歩まん

二 枝くみかわす けやきの若木
 学業の道を いたすらに
 さらめく北斗 仰ぎつつ
 正しくつよく 勉め励まん

三 宮城野萩の しるしを胸に
 試練に耐えて ひとすじに
 希望の灯 目指しつつ
 いざたくましく 奮い進まん

校 章 について

校章は、県木「けやき」の3枚の葉（校訓）とみやぎの萩（支援学校の子どもたち）が一つの輪でまとめられている。明るく（情）正しく（知）たくましく（意）、子どもたちが手を組んで仲良く学業にいそしみ、円満な人格を築くということを表している。

1 学校沿革の概要

昭和42年	4月	宮城県立船岡養護学校開校 初代校長 伊藤龍夫 就任	児童生徒数54名(小・中)	教職員数41名
	7月	校旗樹立		
昭和43年	2月	校歌制定		
	4月	宮城県整肢拓桃園、宮城県整肢不忘学園に分校が併設され開校		
昭和44年	10月	寄宿舎、校舎の全面改築5ヶ年計画開始		
昭和45年	3月	寄宿舎第1期工事竣工		
	4月	本校に高等部設立		
昭和46年	3月	寄宿舎第2期工事竣工		
	10月	全国肢体不自由教育研究協議会宮城県大会開催(本校分科会会場)		
昭和47年	3月	寄宿舎第3期工事、第1期校舎建築(管理棟含む)竣工		
	4月	第2代校長 近江義正 就任	拓桃園分校が宮城県立拓桃養護学校として独立	
	5月	創立5周年記念式典挙行		
昭和48年	6月	寄宿舎第4期工事竣工		
昭和50年	4月	第3代校長 吉田十郎 就任		
	6月	第2期校舎建築竣工		
昭和52年	4月	小学部に訪問教育開始		
	7月	東北地区肢体不自由教育研究協議会開催		
	9月	創立10周年記念式典挙行		
昭和54年	3月	第2校舎増築工事竣工		
昭和55年	4月	第4代校長 大床常治 就任	中学部に訪問教育開始	
昭和57年	6月	体育館落成記念式典挙行		
	7月	校庭整地完了		
昭和59年	4月	第5代校長 佐藤尚 就任		
昭和61年	12月	上屋付プール竣工		
昭和62年	3月	不忘学園分校閉校		
	10月	創立20周年記念式典挙行		
昭和63年	4月	第6代校長 山内寛治 就任		
平成元年	6月	寄宿舎大規模改造工事開始		
	11月	全国肢体不自由教育研究協議会(宮城大会)開催		
平成3年	12月	寄宿舎大規模改造工事完了		
平成4年	4月	第7代校長 村上禎治 就任		
	11月	創立25周年記念式典挙行		
平成5年	10月	第1期大規模改造工事(第3校舎)竣工		
平成6年	4月	第8代校長 北岡侃 就任		
	10月	第2期大規模改造工事(第1校舎)竣工		
平成7年	2月	通学生用昇降口前に車寄せ竣工		
	4月	平成7・8年度文部省特殊教育教育課程研究指定校決定		
	10月	第33回東北地区肢体不自由教育研究大会宮城大会開催(本校主管校)		
		第3期大規模改造工事(第2校舎)竣工		
平成8年	3月	正門・倉庫設置工事竣工		
	4月	第9代校長 梅津義郎 就任		
	7月	第29回東北・北海道肢体不自由養護学校長・PTA合同研究協議会		
	10月	平成7・8年度文部省特殊教育教育課程研究指定校研究公開發表		
平成9年	7月	寄宿舎避難口設備工事竣工	寄宿舎便所改修工事竣工	
	10月	創立30周年記念式典挙行		
平成10年	4月	第10代校長 伊豆士郎 就任		
	11月	駐車場外灯設置工事竣工		
	12月	厨房下処理室改修工事竣工		
平成11年	4月	高等部訪問教育開始		
平成12年	1月	寄宿舎玄関改修工事竣工	厨房排水トラップ等改修工事竣工	
	2月	寄宿舎誘導灯設置工事竣工		
	4月	第11代校長 横田憲年 就任		
平成13年	8月	仙南地域早期教育相談事業開設		
平成14年	3月	寄宿舎舎室(2室)改修工事竣工		
	9月	屋内プール塗装工事	耐震補強工事竣工	
	12月	校内LAN工事竣工		
平成15年	4月	第12代校長 荒川圭介 就任		
	10月	第41回東北地区肢体不自由教育研究大会宮城大会開催(本校主管校)		
平成16年	1月	寄宿舎屋根防水工事竣工	ネットフェンス設置工事竣工	下水道接続工事竣工
平成17年	4月	第13代校長 黒田章 就任		
	6月	第38回東北・北海道肢体不自由養護学校長・PTA合同研究協議会開催		
	8月	避難通路窓ガラス飛散防止フィルム設置工事竣工		
平成18年	3月	寄宿舎舎室(1室)改修工事、玄関屋根設置工事竣工		
平成18年	11月	遊歩道整備工事(第1期)竣工	寄宿舎外灯設置工事竣工	
平成19年	5月	創立40周年を祝う会実施		
	9月	寄宿舎舎室(1室)改修工事竣工	寄宿舎暖房配管改修工事竣工	
平成20年	2月	創立40周年記念植樹(紅梅・白梅)		
	3月	学校沿革史を校長室に設置		

平成21年	3月	寄宿舎舎室・プールろ過装置・校舎トップライト改修工事竣工
	4月	宮城県立船岡支援学校に校名変更 第14代校長 佐々木清秀 就任
平成23年	3月	東日本大震災(本校 震度5強)により、小・中学部卒業式及び修了式中止
	4月	第15代校長 澤田可知 就任
平成24年	10月	授業公開研究会開催
平成25年	3月	東日本大震災災害復旧工事完成
平成25年	4月	第16代校長 日下毅 就任
	10月	寄宿舎舎室エアコン3台設置
平成26年	6月	第46回北海道・東北地区特別支援学校肢体不自由教育校長・PTA会長 合同研究協議会—宮城大会—開催
平成27年	4月	第17代校長 阿部文男 就任
平成28年	8月	第59回全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会総会およびPTA・校長 会合同研究大会宮城大会開催
	11月	創立50周年記念授業公開
平成29年	4月	第18代校長 栗林正見 就任
	7月	寄宿舎全室にエアコン設置
	10月	創立50周年記念式典挙行
平成31年	4月	第19代校長 菅原幸弘 就任
令和2年	3月	第1, 2, 3校舎エアコン設置

2 学校運営の基本方針

1) 教育目標

教育基本法、学校教育法など関係法規に則り、肢体不自由児に対してそれぞれの障害の状態及び能力・特性に応じた教育を行い、もって民主的社会の一員として、心豊かにたくましく生きていく人間を育成する。

社会的自立を目指す児童・生徒の育成

- 積極的に人と関わり、社会生活に適応できる子ども
- 自分で考え、自分で行動する子ども
- 障害に負けずに、心と体を鍛える子ども

[校 訓]

明 る く

正 し く

たくましく

2) 学校教育の方針

- (1) 人間尊重の立場にたち、児童生徒の個々を見つめ、その可能性を信じ、障害の状態と能力に応じた個々の指導課題を明確にして、効果的な教育を行う。
- (2) 児童生徒と教職員の相互理解と信頼性を大切に、児童生徒が喜々として学び合う教育を行う。
- (3) 学校と家庭、地域社会及び関係機関との相互理解と信頼関係を深め、その教育機能を密接に連携づけた教育を行う。

3) 学校経営方針

- (1) 教職員は、全体への奉仕者であることを常に自覚し、互いの信頼と敬愛に基づいて児童生徒の幸福のために誠心誠意職務に専念する。
- (2) 全ての教職員が、各人の特性を生かしながら意欲と創意をもって学校経営に参画し、教育活動が有機的に行われることにより、本校の使命を達成することができるよう努める。
- (3) 児童生徒の心身の状態、障害の程度、家庭環境等を客観的に把握し、安心・安全な教育環境の中で家庭との連携を図るとともに、専門家等の知見を生かし、個々に応じた支援の改善と内在する可能性の開発に努める。
- (4) 障害の重度・重複化や多様化を踏まえて、障害に応じた教育の内容・方法の確立を図るとともに、児童生徒が意欲と志をもって将来を考える進路支援を行い、社会的自立に向けて全力で支援する。
- (5) 学校と寄宿舎は、児童生徒の全人教育の場として、常に密接な連携を行う。また、各学部及び寄宿舎の特質を生かし、それらが発達段階に応じて接続して機能するように努める。
- (6) 現職教育に努め、教員の資質と指導力の向上を図る。特に、肢体不自由特別支援学校としての県民の要請に応えることができるよう専門性の向上に取り組む。
- (7) 肢体不自由特別支援学校として、県全体に向けたセンター的機能を果たす。また、地域との連携や開かれた学校づくりに努めるとともに、本校の活動を積極的に発信する。

4) 本年度の努力点

- (1) 新学習指導要領への移行を踏まえながら、児童生徒の実態に応じた教育課程の編成と、実践を通しての学習指導及び生活指導の充実、改善に努める。
- (2) 研究活動及び校内外の研修を通じて、肢体不自由の分野を中心に、障害の多様化・重度化に対応した教員の資質及び専門性の向上を図る。
- (3) 各学部、寄宿舎、保護者、地域との連携を深め、体験的で楽しい学びと、安心・安全な学校づくりに努める。
- (4) 自立と社会参加に向けたスキルの育成と進路支援の充実に努める。
- (5) 地域交流、居住地校交流、学校間交流、スポーツや文化交流、センター的役割等を通して、共生社会の形成と開かれた学校づくりに努める。
- (6) 学校評議員、外部専門家等、校内外の経営・教育資源の積極的活用、情報化の推進、適切な施設設備の管理及び事務処理等により、教育活動の一層の充実を図る。

3 児童生徒数等（令和2年4月1日現在）

（1）生徒数 ※小学部7学級，中学部8学級，高等部19学級，計24学級

学 部	小 学 部							中 学 部				高 等 部				合計
学 年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
男	1	1	3	0	1	0	6	4	4	5	13	5	4	3	12	31
女	2	3	3	2	1	2	13	2	1	2	5	3	5	2	10	28
計	3	4	6	2	2	2	19	6	5	7	18	8	9	5	22	59
寄宿舎生	0	0	0	0	0	0	0	4	3	2	9	5	6	5	16	25
通学生	3	4	6	1	2	2	18	2	2	5	9	3	3	0	6	33
訪問生	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

（2）出身地別児童生徒数

出身地	小	中	高	計	出身地	小	中	高	計	出身地	小	中	高	計
柴田郡	11	5	5	21	大崎市	0	1	1	2	東松島市	0	0	1	1
仙台市	0	1	10	11	宮城郡	0	1	1	2					
亘理郡	3	2	2	7	名取市	0	1	0	1					
岩沼市	2	1	1	4	塩釜市	0	1	0	1					
白石市	1	2	1	4	富谷市	0	1	0	1					
角田市	2	1	0	3	多賀城市	0	1	0	1	計	19	18	22	59

（3）疾患の分類別児童生徒数

疾患の分類	小学部		中学部		高等部		合 計	
脳性疾患	12	63.2%	13	72.2%	9	40.9%	34	57.6%
脊椎脊髄疾患	0	0	1	5.6%	4	18.2%	5	8.5%
筋原性疾患	2	10.5%	2	11.1%	2	9.1%	6	10.2%
骨系統疾患	0	0	0	0	4	18.2%	4	6.8%
その他	5	26.3%	2	11.1%	3	13.6%	10	16.9%
	19		18		22		59	

4 児童生徒数推移 (昭和50年～)

年度	小	中	高	合計	寄宿舎
50	45	43	61	149	136
51	37	31	69	137	118
52	41	36	55	132	106
53	38	35	50	123	95
54	38	34	40	112	80
55	34	36	45	115	81
56	26	35	55	116	78
57	33	28	57	118	73
58	32	25	62	119	68
59	30	21	63	114	59
60	29	23	67	119	61
61	24	25	66	115	60
62	29	25	65	119	66
63	24	26	66	116	66
H元	25	24	63	112	65
2	23	23	66	112	65
3	20	23	62	105	58
4	24	18	64	106	58
5	17	20	58	95	50
6	15	21	59	95	55
7	19	20	50	89	48
8	14	18	49	81	44
9	16	16	43	75	36
10	16	21	41	78	34
11	21	13	45	79	34
12	22	14	40	76	40
13	23	16	46	85	43
14	23	13	37	73	31
15	23	14	37	74	32
16	23	14	27	64	28
17	17	22	28	67	32
18	14	24	34	72	35
19	14	25	44	83	45
20	10	19	47	76	40
21	10	16	44	70	37
22	9	15	41	65	36
23	9	15	36	59	35
24	10	16	30	56	32
25	11	14	31	56	30
26	15	14	37	66	35
27	18	9	38	65	32
28	19	8	33	60	25
29	19	10	28	57	24
30	18	18	25	61	27
31	19	19	25	63	28
R2	19	18	22	59	25

5 高等部卒業生の進路状況 (過去10年間)

進路先／平成	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1
就 職	1	1	0	0	3	1	2	0	1	1
能力開発校	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0
福祉サービス事業所	12	9	11	10	3	12	10	9	5	10
在 宅	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
その他(進学等)	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0
卒業生数	15	13	12	10	8	13	16	9	8	11

6 日課時程表

時刻	日 課	備 考
8:30	職員打合せ	[登校時刻] 8:40
8:40	児童生徒登校	
	学級指導・HR	
9:00	1校時 授業	
9:45		[チャイム] HR・朝の会 8:40 1校時開始時 9:00 4校時終了時 12:30 5校時開始時 13:30 6校時終了時 15:10
9:55	2校時 授業	
10:40		
10:50	3校時 授業	
11:35		
11:45	4校時 授業	
12:30	給 食	
13:30	5校時 授業	
14:15		
14:25	6校時 授業	
15:10		

7 各学部の教育計画

1) 小学部教育計画

(1) 小学部教育目標

本校の教育目標を基本として、肢体不自由を有する児童の心身の発達と特性を考慮し、次のような児童を育成する。

・なかよくする子ども ・がんばる子ども ・元気な子ども

(2) 運営の基本方針

①児童一人一人の命を守り、人間性を尊重し、実態に応じた教育課程を編成して、それを基にきめ細かな指導を行う。

②人と関わる力を育成するとともに、社会的自立への素地をつくる。

③学ぶ楽しさを味わわせるとともに、個々の学習目標を達成させるための努力と工夫と配慮を尽くす。

④地域に開かれた教育を目指し、交流及び共同学習の充実を図る。

⑤家庭との連絡を密にし、保護者との共通理解を図る。

⑥各学部・寄宿舎との連携を密にし、情報を共有しながら協力して運営に当たる。

⑦実践を基調とし、教師自身の資質の向上に努める。

(3) 小学部教育課程

類 型		Ⅰ 類型						Ⅱ 類型				Ⅲ 類型				訪問
学 年		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4～6	1	2	3	4～6	全
教 科	国語	272 (8)	280 (8)	220 (6+10h)	220 (6+10h)	170 (4+30h)	170 (4+30h)	*34 (1)	*35 (1)	*70 (2)	*70 (2)					
	社会			70 (2)	85 (2+15h)	90 (2+20h)	90 (2+20h)									
	算数	136 (4)	175 (5)	165 (4+25h)	170 (4+30h)	170 (4+30h)	170 (4+30h)	*34 (1)	*35 (1)	*70 (2)	*70 (2)					
	理科			90 (2+20h)	105 (3)	100 (2+30h)	100 (2+30h)									
	生活	102 (3)	105 (3)													
	音楽	68 (2)	70 (2)	60 (1+25h)	60 (1+25h)	50 (1+15h)	50 (1+15h)	68 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)					
	図工	68 (2)	70 (2)	60 (1+25h)	60 (1+25h)	50 (1+15h)	50 (1+15h)									
	家庭					35 (1)	35 (1)									
	体育	68 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	68 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)					
	特別の教科 道徳	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)									
	外国語					70 (2)	70 (2)									
領 域	特別活動 (学級活動)	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	34 (1)	35 (1)	35 (1)	35 (1)	
	総合的な学 習の時間			70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)									
	外国語活動			35 (1)	35 (1)											
各教科 等を合 わせた 指 導	日常生活の 指導							374 (11)	385 (11)	420 (12)	420 (13)	374 (11)	385 (11)	420 (12)	455 (13)	
	生活単元 学習							136 (4)	140 (4)	140 (4)	140 (4)					
自立活動		68 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	70 (2)	*170 (5)	*210 (6)	*245 (7)	*245 (7)	442 (13)	490 (14)	525 (15)	525 (15)	210 (6)
合 計		850 (25)	910 (26)	980 (28)	1015 (29)	1015 (29)	1015 (29)	850 (25)	910 (26)	980 (28)	1015 (29)	850 (25)	910 (26)	980 (28)	1015 (29)	210 (6)

○*印の時数は、児童の実態に応じて弾力的に扱う。

○Ⅲ類型の週指導時数は、児童の負担過重にならないよう児童の実態に応じて適切な授業時数を充てる。

○訪問指導の課程は、児童の実態に応じて教科領域の時数を配分する。

2) 中学部教育計画

(1) 学部教育目標

本校の教育目標を基本として、生徒の心身の障害や能力、適性等に応じて、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

- ① 自分から人や社会へ関わっていく生徒
- ② よく学び、よく考えて行動する生徒
- ③ 体を大切にして、心豊かな生徒

(2) 運営の基本方針

豊かで効果的な教育活動を推進するため、次の事項に留意して教育実践に努める。

- ① 生徒の実態に即応した望ましい教育内容や方法の確立に努める。
- ② 生徒と教師の人間関係を密にして、的確な実態把握と生徒理解に努める。
- ③ 実践的研究を通して、指導力や資質の向上に努める。

(3) 教育課程

類 型		Ⅰ 類 型			Ⅱ 類 型	Ⅲ 類 型	訪 問
学 年		1	2	3	全	全	全
教 科	国 語	140(4)	140(4)	105(3)	※105(3)		
	社 会	105(3)	105(3)	140(4)			
	数 学	140(4)	105(3)	140(4)	※105(3)		
	理 科	105(3)	140(4)	140(4)			
	音 楽	35(1)	35(1)	35(1)	70(2)		
	美 術	35(1)	35(1)	35(1)			
	保・体	70(2)	70(2)	70(2)	70(2)		
	技・家	70(2)	70(2)	35(1)			
	英 語	140(4)	140(4)	140(4)			
道 徳		35(1)	35(1)	35(1)			
特 別 活 動		35(1)	35(1)	35(1)	35(1)	* 35(1)	
各教科 等を含 めた 指 導	日常生活 の指導				35(1) 105(3)	175(5) 105(3)	
	生活単元 学習				245(7)		
	作業学習				70(2)		
自 立 活 動		105(3)	105(3)	105(3)	※175(5)	700(20)	210(6)
総合的な学習の時間		50	70	70	70		
合 計		1015 (29)	1015 (29)	1015 (29)	1015 (29)	980 (28)	210 (6)

- 全類型の合計時数には、総合的な学習は含まれていない。
- Ⅱ類型、Ⅲ類型では 給食（日常生活の指導）は1日0.6時間、週3時間でカウントする。
- 総合的な学習の時間は進路体験学習等でまとめ取りをする。
- ※生徒の実態によって、時数は弾力的に扱う。

3) 高等部教育計画

(1) 学部教育目標

本校の教育目標を基本とし、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するとともに人格を陶冶して、社会的自立を図るための知識、技能、態度を育成する。

- ・積極的に人と関わり、社会生活により適応できる生徒
- ・主体的に考え、行動できる生徒
- ・心と体を鍛え、基本的な生活習慣の確立を目指す生徒

(2) 運営の基本方針

- ①各自の特性を生かして、信頼・協力し合い、生徒の指導に当たる。
- ②実践研究を深め、指導力の向上と教育内容の改善に努める。

(3) 教育課程

高等部 教育課程（Ⅱ類型、Ⅲ類型、訪問）

類型		Ⅱ類型	Ⅲ類型	訪問
学 年		1～3	1～3	1～3
教科・科目	国 語	105(3)※②		
	数 学	105(3)※②		
	音 楽	35(1)		
	美 術	35(1)		
	体 育	140(4)		
	選 択	70(2)※①		
特別活動	L H R	35(1)	35(1)	
総合的な学習の時間 ※③		70(2)		
各教科等を 合わせた指 導	日常生活の指導		350(10)	
	生活単元学習	140(4)		
	作業学習	210(6)		
自 立 活 動		105(3)※②	665(19)	210(6)
合 計		1050(30)	1050(30)	210(6)

※①＜選択＞ Ⅱ類型：週1時間は、音楽、英語からどちらかを選択。

もう1時間は、美術、情報、社会の中から1つを選択。

※② 生徒の実態によって、時数は弾力的に扱う。

※③ H31入学生より「総合的な探究の時間」

令和2年度 高等部 教育課程表(Ⅰ類型)

入学年度→ 学年		Ⅰ 類型								
		2 年度入学生			3 1 年度入学生			3 0 年度入学生		
科目	学年	1	2	3	1	2	3	1	2	3
教科・科目	音楽Ⅰ	※1 35(1)	35(1)	35(1)	※1 35(1)	35(1)	35(1)	※1 35(1)	35(1)	35(1)
	美術Ⅰ									
	体育	105(3)	105(3)	105(3)	105(3)	105(3)	105(3)	105(3)	105(3)	105(3)
	保健		35(1)	35(1)		35(1)	35(1)		35(1)	35(1)
	国語総合	105(3)	105(3)		105(3)	105(3)		105(3)	105(3)	
	国語表現			105(3)			105(3)			105(3)
	地理A		105(3)		105(3)				105(3)	
	世界史A			105(3)			105(3)			105(3)
	現代社会	105(3)				105(3)		105(3)		
	数学Ⅰ	105(3)	105(3)		105(3)	105(3)		105(3)	105(3)	
	数学A			70(2)			70(2)			70(2)
	科学と人間生活	105(3)			105(3)			105(3)		
	化学基礎		70(2)			70(2)			70(2)	
	コミ英語Ⅰ	105(3)			105(3)			105(3)		
	英語会話		70(2)	35(1)		70(2)	35(1)		70(2)	35(1)
	家庭総合	70(2)	70(2)	70(2)	70(2)	70(2)	70(2)	70(2)	70(2)	70(2)
	社会と情報	105(3)			105(3)			105(3)		
	情報処理(2)		※2			※2			※2	
	数学活用(2)									
	古典A(2)		70~140 (2~4)			70~140 (2~4)			70~140 (2~4)	
	英語表現Ⅰ(2)									
	生物基礎(2)									
	現代文A(4)			※3			※3			※3
	コミ英Ⅱ(4)									
	数学Ⅱ(4)									
	ビジネス情報(4)									
	生物(4)			210~280 (6~8)			210~280 (6~8)			210~280 (6~8)
	化学(4)									
	世界史B(4)									
	日本史B(4)									
	政治・経済(2)									
	ビジネス基礎(2)									
特別活動	LHR	35(1)	35(1)	35(1)	35(1)	35(1)	35(1)	35(1)	35(1)	35(1)
総合的な学習(※4 探究)の時間		70(2)	70(2)	70(2)	70(2)	70(2)	70(2)	70(2)	70(2)	70(2)
自立活動		105(3)	105(3) ~175(5)	105(3) ~175(5)	105(3)	105(3) ~175(5)	105(3) ~175(5)	105(3)	105(3) ~175(5)	105(3) ~175(5)
合 計		1050 (30)	1050 (30)	1050 (30)	1050 (30)	1050 (30)	1050 (30)	1050 (30)	1050 (30)	1050 (30)

※1から音楽Ⅰか美術Ⅰのどちらかを選択し、3年間同じ科目を履修

※2から1~2科目選択

※3から2~3科目選択(「ビジネス情報」は「情報処理」履修者・「生物」は「生物基礎」履修者)

※4 H31入学生より「総合的な探究の時間」

8 寄宿舎運営計画

(1) 寄宿舎教育目標

本校の教育目標並びに学校運営の方針に則し、寄宿舎における日常生活指導の実践を通して、人間性豊かな児童生徒を育成する。

- ①好ましい人間関係を築き、助け合って生活する児童生徒
- ②きまりを守り、自ら考えて生活する児童生徒
- ③健康や衛生に気を付けて生活する児童生徒

(2) 運営方針

- ①一人一人の児童生徒を的確に把握し、実態に即応した生活指導の実践に努める。
- ②障害の実態に応じた指導法の研究や実践に努め、指導員の資質の向上を図る。
- ③障害の重度化に対応し、楽しく安らぎのある生活ができるよう、指導内容の充実及び施設設備の整備改善に努める。
- ④家庭、学校、寄宿舎の三者で連携を緊密に図り、通学生の体験入舎も含め寄宿舎の機能を十分発揮するよう努める。
- ⑤児童生徒及び職員の安心・安全を最優先に、環境整備に努める。

(3) 寄宿舎在籍数（令和2年4月1日現在）

学 部	小 学 部							中 学 部				高 等 部				総計
学 年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
男	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	6	4	2	3	9	15
女	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	1	4	2	7	10
計	0	0	0	0	0	0	0	4	3	2	9	5	6	5	16	25

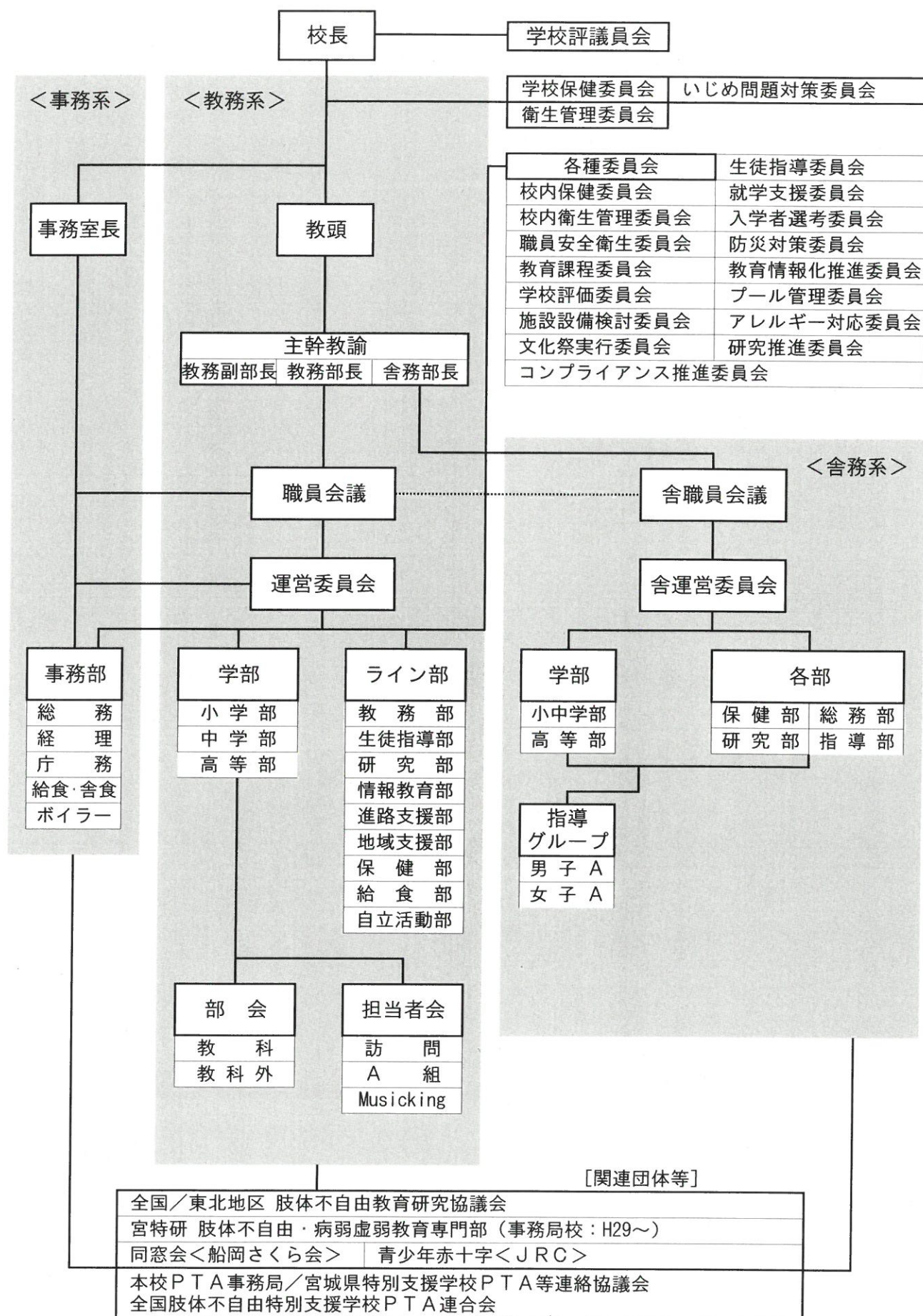
(4) 寄宿舎の主な行事

月	主 な 行 事
4月	・新入舎生歓迎会 ・避難訓練①
5月	・明真会総会① ・保護者面談① ・寄宿舎保護者総会
6月	・歯磨き指導
7月	・夏祭り ・夏休み前生活指導
8月	
9月	・避難訓練②
10月	・体づくり強化週間
11月	・手洗い、うがい指導
12月	・つどい2020 ・冬休み前生活指導
1月	
2月	・卒業生を送る会 ・明真会総会② ・保護者面談②（卒業生）
3月	・春休み前生活指導 ・保護者面談②（在舎生）
備考	・安全点検（職員：毎月、生徒：年3回） ・小中学部、高等部活動（年数回） ・明真会行事（年数回） ・部屋行事（指導グループごと年1回） ・寄宿舎便り発行（年4回）

(5) 日課時間

時 間	日 課
6：30	起床（休日は7：00）
7：15	朝の会（休日はなし）
7：20	配膳（休日は7：45）
7：30	朝食（休日は8：00）
8：35	登校
12：00	（休日のみ配膳・舎食昼食）
14：30	小中学部生 下校
15：15	高等部生 下校 入浴 女子偶数月（火・水・木） 男子偶 数月（月・水・木）※奇数月は交換 ※夏季のみ入浴日以外にシャワー浴可
17：00	配膳
17：15	夕食
18：00	余暇時間
20：00	在室確認
21：00	小中学部生 消灯・就寝
21：30	高等部生 消灯・就寝

学校運営機構

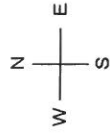


令和2年度 年間行事計画

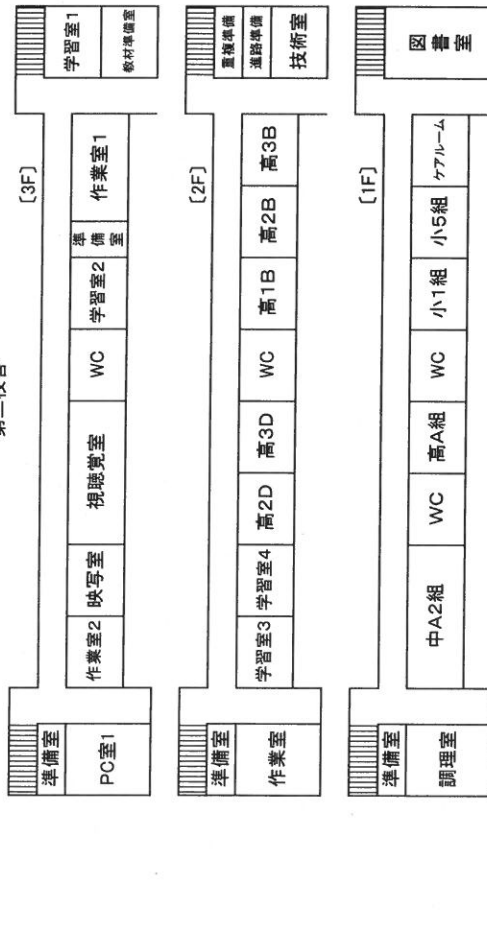
4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	水	学年始休業日↓	1	金	視力検査(高)	1	月	小:校外学習	1	水		1	土		1	火	
2	木		2	土		2	火	歯科検診	2	木		2	日		2	水	高:期末考査(～8日)
3	金		3	日	憲法記念日	3	水	小:校外学習	3	金	中3:校外学習	3	月		3	木	
4	土		4	月	みどりの日	4	木	小:校外学習	4	土		4	火		4	金	中:期末考査(～8日) PTA役員選考委
5	日		5	火	こどもの日	5	金	高:現場実習説明会	5	日		5	水		5	土	
6	月		6	水	振替休日	6	土		6	月		6	木		6	日	
7	火	学年始休業日↑	7	木	視力検査(中)	7	日	障害者スポーツ大会 (陸上)	7	火		7	金		7	月	
8	水	第1学期始業式	8	金	聴力検査(小) 中:生徒総会②③	8	月	高:中間考査(～12日) 給食残量調査週間	8	水	中:富中交歓会	8	土		8	火	高A:校外学習
9	木	入学式	9	土		9	火	高A:校外学習	9	木		9	日		9	水	
10	金		10	日		10	水	小:横小交流	10	金	PTA役員選考委	10	月	山の日	10	木	
11	土		11	月		11	木	中:中間考査(～12日)	11	土		11	火	学校閉庁日 (～14日)	11	金	高:筑農・船支交流会 PTA役員会
12	日		12	火	中:拓桃交流会	12	金		12	日		12	水		12	土	
13	月	高:対面式②③	13	水	聴力検査(中) 介護等体験①	13	土		13	月	スマホ・携帯教室	13	木		13	日	
14	火		14	木	視力検査(小) 介護等体験①	14	日		14	火	文化祭集会	14	金		14	月	
15	水		15	金	授業参観, 懇談会	15	月	避難訓練 介護等体験②	15	水		15	土		15	火	学校見学会
16	木		16	土		16	火	介護等体験②	16	木	小:個別懇談週間 中:生徒会行事	16	日		16	水	
17	金	臨時休業日↑	17	日		17	水	午前授業 (教科書選定)	17	金	PTA役員会	17	月		17	木	文化祭集会
18	土		18	月	避難訓練	18	木	耳鼻科検診	18	土		18	火		18	金	
19	日		19	火	眼科検診	19	金		19	日		19	水		19	土	
20	月		20	水	尿検査	20	土		20	月		20	木		20	日	
21	火		21	木		21	日		21	火		21	金		21	月	敬老の日
22	水	身体計測(中Ⅰ・Ⅱ)	22	金	小:親子運動会	22	月	中:前期進路体験学習	22	水	全校集会 会:夏まつり	22	土		22	火	秋分の日
23	木	身体計測(中Ⅲ)	23	土	障害者スポーツ大会(FD)	23	火	循環器検診	23	木	海の日	23	日		23	水	介護等体験③
24	金		24	日		24	水	高1:職場施設見学	24	金	スポーツの日	24	月		24	木	介護等体験③
25	土		25	月	開校記念日 結核検診(高1)	25	木	小:修学旅行	25	土		25	火		25	金	
26	日		26	火		26	金		26	日		26	水	夏季休業日↑	26	土	
27	月	身体計測(小①)	27	水	高1:校外学習 高3:校外学習	27	土		27	月	夏季休業日↓ 家庭訪問期間	27	木	全校集会	27	日	
28	火	身体計測(小②)	28	木	内科検診	28	日		28	火		28	金		28	月	
29	水	昭和の日	29	金	PTA役員選考委	29	月	高:現場実習(～7/3)	29	水		29	土		29	火	
30	木	身体計測(高)	30	土		30	火		30	木		30	日		30	水	文化祭校内ステージ発表
			31	日					31	金		31	月				
授業日数新入生 15 在校生 16			授業日数 18			授業日数 22			授業日数 16			授業日数 3			授業日数 20		

令和2年度 校舎使用配置図

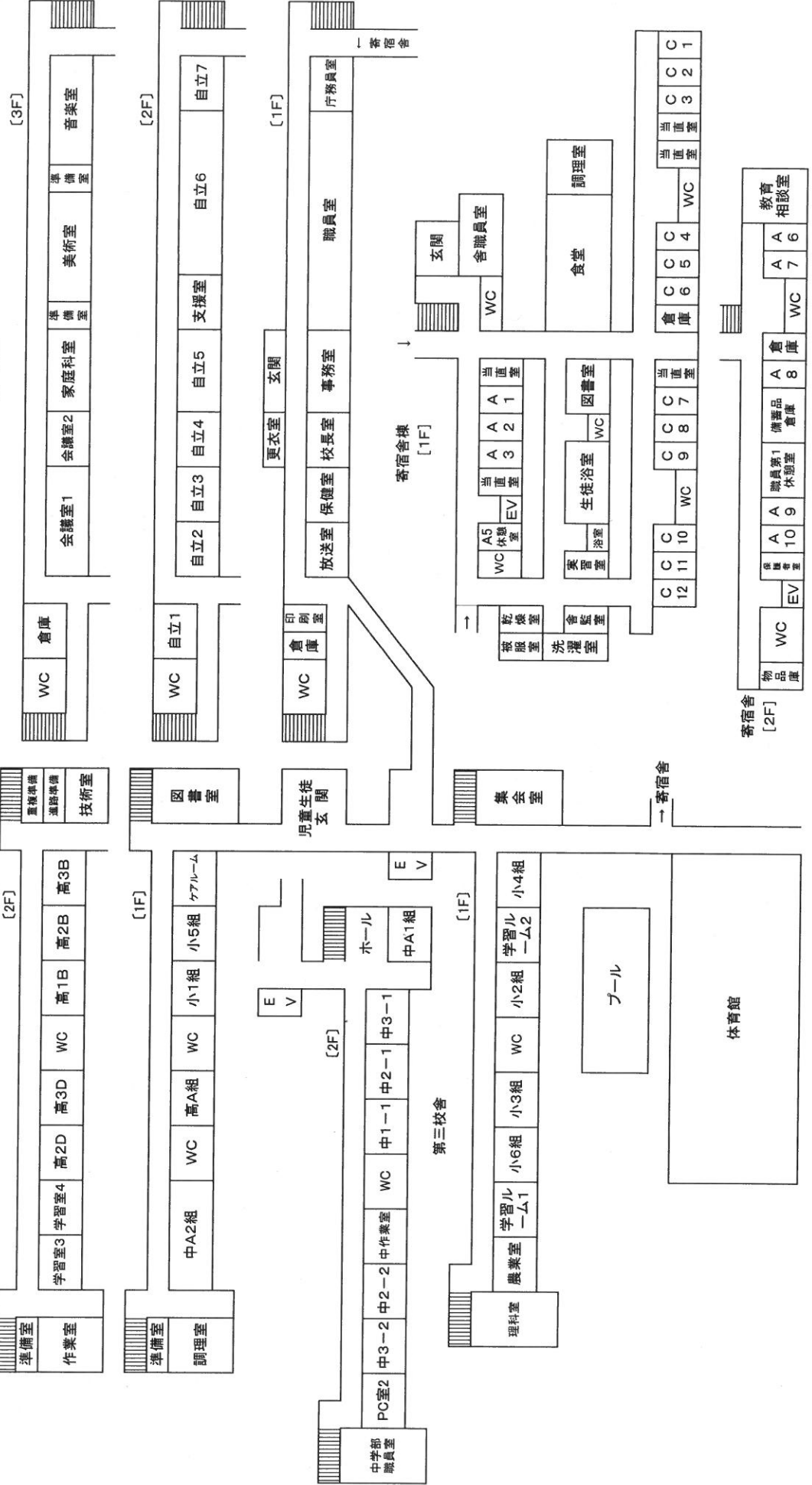
宮城県立船岡支援学校



第二校舎



第一校舎



交通案内図

